

# connect

〔コネクト〕

第6号

令和5年4月



お伝えします。

医療の“いま”、病院の“いま”を

入退院支援センタースタッフ

## 特集 血管外科 かん まち 上町いまきいれ病院

- [TOPICS] 入退院支援センター(PFM)移設オープン
- [INFORMATION] 医師紹介

つながる医療 つながる生命



公益社団法人昭和会 IMAKIIRE GENERAL HOSPITAL

いまきいれ総合病院

# 特集 血管外科

## 血管外科紹介

いまきいれ総合病院血管外科は鹿児島県内唯一の日本脈管学会認定施設として主に閉塞性動脈硬化症、下肢静脈瘤、深部静脈血栓症、慢性静脈機能不全、リンパ浮腫、などの疾患や難治性創傷の血流評価等の診療を行っています。手術治療は、閉塞性動脈硬化症に対するEVT治療、急性動脈閉塞に対する血栓除去、透析シャント造設、下肢静脈瘤手術などを行っています。



## 下肢閉塞性動脈硬化症

下肢閉塞性動脈硬化症(ASO)による下肢動脈血流低下→下肢虚血・足壊疽→足切断このような状況を1例でも回避できるように、積極的にASOに対する血管内治療EVTに取り組んでいます。外来で術前精査として血管エコー、造影CT(またはMRA)を行い治療方針をたてます。入院加療が必要な場合は3泊4日の治療計画で入院していただきます。入院し、血管造影で詳細な血流状態を確認後そのまま治療を行っています。また、EVT治療は循環器内科、放射線診断科医師とともに治療を行っています。透析、造影剤アレルギー患者さんへの対応も行っています。EVT治療は、血管外科に入院していただき、3泊4日の治療計画でクリニカルパスを使用しています。病変次第ですが、1週間程度仕事を休んでいただければ症状軽快が期待できます。

## 下肢静脈瘤

下肢静脈瘤は特殊な病気ではありません。立ち仕事の時間が長い人、女性に多く見られますが、二足歩行をしている人間は加齢により増えてきて誰にでも起こりうる疾患です。下肢静脈瘤の外科的治療は、高位結紮術・ストリッピング手術・硬化療法・瘤切除に加えここ数十年で局所麻酔下に行える血管内焼灼術・血管内塞栓術が主流となってきました。当科でも下肢静脈瘤の治療として血管内焼灼術(ELVsレーザー1470)に加え、血管内塞栓術も行えます。どちらも逆流を認める静脈にカテーテルを通して行う治療です。血管内焼灼はレーザーファイバーを挿入し内側から逆流静脈を焼灼することで閉塞させ逆流をなくします。血管内塞栓術はカテーテルをとおして医療用接着剤(グルー)を入れ逆流をなくす方法です。どちらの手術がその方にとって最適かは患者さんと相談して決めていきます。

いずれも保険診療となっております。また、患者さんの生活様式に合わせて、日帰りまたは1泊2日で治療を行っています。

下肢静脈瘤は外観上の問題だけではなく、徐々に下肢のだるさ・こむら返り・むくみ・皮膚掻痒・湿疹、最終的には下腿難治性潰瘍が出てくる疾患です。また、下肢静脈瘤の保存的治療として圧迫療法があります。弾性ストッキングの着用がそれにあたります。当科では患者さんの足のサイズを測定し、それぞれ患者さんにあった弾性ストッキングのサイズ選択・着用方法、弾性ストッキング以外の圧迫療法についても指導しています。下肢静脈瘤の検査は超音波検査が必須となります。その他、静脈瘤手術既往がある方の再発症例では単純CTを行う場合もあります。手術を希望される方には術前精査として採血などの検査もあります。手術を希望されない方に対しても保存的療法として弾性ストッキングの着用指導も行いますので何かお困りのことがありましたらご相談ください。



下肢静脈瘤手術：血管内焼灼術



下肢静脈瘤手術：血管内塞栓術

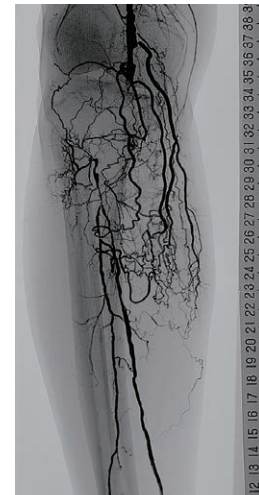
### 症例

60歳代、男性。

主訴：右母趾潰瘍。約3か月前から右母趾潰瘍認め改善ないとのことで紹介受診。

既往：2型糖尿病、脂質異常症、狭心症、慢性心不全。

ABI値：右下肢測定不能、左下肢0.80。右下肢の動脈血流低下による右母趾潰瘍治療難治の状態と考えEVT治療を行い右下肢血流改善を認めた。



▲右膝窩動脈が閉塞し側副血行路から後脛骨動脈・腓骨動脈が途中から描出



▲閉塞した右膝窩動脈のバルーン拡張



▲右膝窩動脈から後脛骨動脈まで開通

### 下肢静脈瘤による皮膚潰瘍症例

約半年前から右下腿内側に発赤・熱感・潰瘍を認める。右大伏在静脈に弁不全伴う逆流を認め血管内焼灼術を行い約7週間後に潰瘍治癒を認めた。



### 地域の医療機関の

### みなさまへ

血管外科では上記疾患の診療とともに、脈管治療センターの1科として循環器内科・放射線科・皮膚科・形成外科・整形外科・糖尿病内科・緩和ケア内科・リハビリ診療、その他原疾患担当科と連携し診断・治療を行っています。下肢浮腫、うっ滞性皮膚炎、蜂窩織炎、難治性皮膚潰瘍、足壊疽など足病変・足トラブルに対応しています。その他、リンパ浮腫、深部静脈血栓症、慢性静脈機能不全、下肢静脈瘤などの診断・治療・ケアアドバイス、予防などの指導も行っています。お困りの症例がありましたらご相談ください。

### 部長 牛島 孝

○日本外科学会外科専門医  
○日本血管外科学会認定血管内治療医・浅大腿動脈ステントグラフト実施医  
○日本脈管学会脈管専門医・指導医  
○下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施医・指導医  
○弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター  
○バージャー病指定医、麻酔科標榜医  
○日本静脈学会 評議員  
○医学博士

### 科長 平林 葉子

○日本外科学会外科専門医  
○日本脈管学会脈管専門医  
○下肢静脈瘤に対する血管内治療実施基準による実施医・指導医  
○弾性ストッキング・圧迫療法コンダクター  
○日本静脈学会 評議員  
○医学博士

# 上町 —あなたらしく生きるを支える— いまきいれ病院

上町いまきいれ病院は回復期病棟54床・地域包括ケア病棟46床(うち眼科10床)で運営を行っています。

旧今給黎総合病院別館を改装し、令和3年10月に移転オープンしました。地下1階に眼科外来および手術室・リハビリテーション室、1階に各科外来(脳神経内科・整形外科・総合内科・糖尿病科)を設置しています。また、2階フロアを回復期病棟、3階フロアを地域包括ケア病棟の入院管理病棟として運営しています。どちらも在宅復帰を目的とした病棟です。回復期病棟は、昨年12月より体制強化加算1の届け出を行い、専従医と専従社会福祉士を配置し、リハビリや在宅支援の強化を図っています。地域包括ケア病棟では在宅療養中の患者、特に神経難病や癌患者のレスパイト入院の受け入れを積極的に行っています。在宅や急性期病院からの緊急入院(軽症～中等症)も実施し、地域開業医の先生方やケアマネージャーとの連携を図っています。

退院支援では、在宅支援診療所やケアマネージャー、訪問看護師等との連携も強化しています。

今後も質の向上と地域連携をテーマに、地域の医療機関としての役割を担っていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

## 眼科

眼科では、白内障・網膜硝子体疾患・緑内障・加齢黄斑変性など、眼にかかわる様々な疾患に対し、最新の医療機器やシステムを用いた高度かつ安全な治療の提供を使命としています。

全身状態に不安のある場合や高度な技術を要する難症例手術、緊急を要する眼疾患にも入院での治療が可能です。

白内障手術においては、多様化するニーズに対応するため、適応により多焦点眼内レンズや乱視用眼内レンズを選択することが可能です。

当院では、遠隔地から負担の少ない受診になるよう初診入院での手術体制を整えています。また、手術をお急ぎの方についてもご相談ください。



### 病院概要

#### 標榜科

内科、脳神経内科、糖尿病内科、整形外科、リハビリテーション科、眼科

#### 病床種別及び届出・許可病床数

病床：100床

回復期：54床  
地域包括ケア：46床(眼科10床)

### 手術実績 (2022年)

白内障手術 ..... 749件  
硝子体手術 ..... 50件  
緑内障手術 ..... 5件  
翼状片手術 ..... 11件  
硝子体内注射 .... 175件  
その他 ..... 89件

## リハビリテーション課

リハビリテーション課では、患者中心のリハビリテーションを年中無休365日体制で行っています。

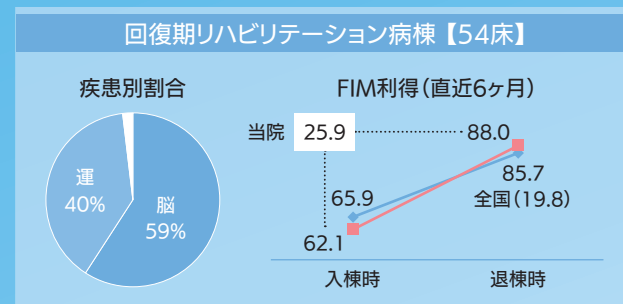
多職種でその人に何が必要なのか問い、再び(re)より適した(habilis)状態で在宅・社会復帰が送れるよう、チームで取り組んでいます。

昭和会基本理念のもと、「患者さん第一の質の高いリハビリテーションを目指して」人材教育に力を入れ、臨床場面では最新の知見を取り入れたリハビリテーションが提供できるよう、自己研鑽にも励んでいます。

回復期リハビリテーション病棟は「入院料2」を、地域包括ケア病棟は「入院料1」を算定しており、重症患者も積極的に受け入れています。

### STAFF

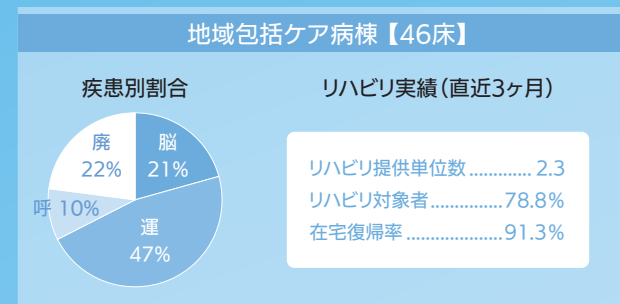
理学療法士 ..... 17名  
作業療法士 ..... 9名  
言語聴覚療法士 .... 4名  
マッサージ師 ..... 2名



口腔ケアに関するチームを結成しSTによるケア演習



看護部と協力しながらレクリエーションや集団リハビリ等の補完代替リハビリも実施



転倒予防の取り組みとして多職種KYT・カンファレンスを実施。転倒率は回復期リハビリテーション協会調べの転倒割合を下回る(当該病棟転倒率7%)



医療スタッフ、患者やその家族、ケアマネージャー等が参加するカンファレンスを行い、安心して在宅での生活が始められるようサポート



# 入退院支援センター(PFM)移設オープン



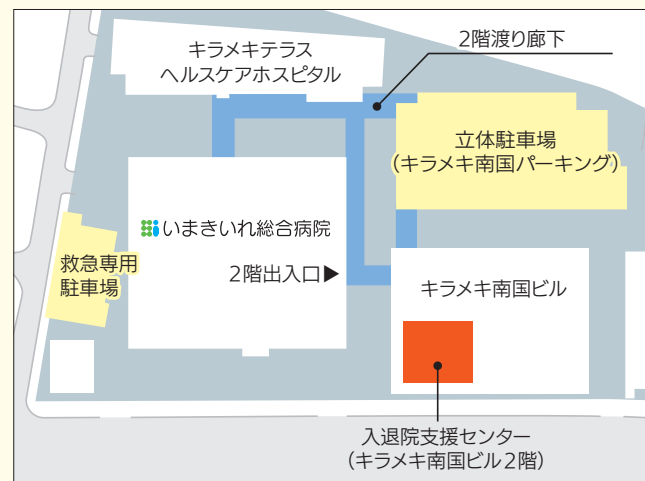
5月に入退院支援センターが隣のキラメキ南国ビル2階に移設オープンしました。

入院する患者さんの基本情報を入院前に専門職種で介入し、アセスメントすることで、より安全・安心して入院生活を送ることができます。

そして、入院前より退院を見据えて介入をすることで、円滑な退院支援を行うことができます。

入院が決定しましたら、下記のことが実施されます。

- 入院前検査
- 医師による入院・手術についての説明
- 入院書類の配布と説明
- 薬剤師による服薬確認
- 管理栄養士による面談
- 手術室看護師による面談(必要時)
- 入院説明・入院前支援看護師による面談



入退院支援センターでは、主に『入院説明・入院前支援看護師による面談』を実施します。

入院前支援看護師、社会福祉士、入退院支援看護師、緩和ケア認定看護師、ナースアシスタントが同じフロアで活動することで、予約患者さんの早期入退院支援が可能になります。



入退院支援センター受付カウンター



相談カウンター



個室(4室設置)

# Information

IMAKIIRE General Hospital



## 4月入職医師紹介

### いまきいれ総合病院



緩和ケア内科  
部長  
小玉 哲史

○精神保健指定医  
○日本精神神経学会精神科専門医  
○精神腫瘍学の基本教育のための都道府県指導者研修修了  
○精神腫瘍学指導医研修会修了者に対する集合研修企画責任者のための講習受講



整形外科  
部長待遇  
堀川 良治

○日本整形外科学会整形外科専門医  
○日本手外科学会専門医  
○医学博士(鹿児島大学)  
○緩和ケア研修修了医

救急・総合診療科  
科長  
鶴 将司

○日本内科学会総合内科専門医  
○日本内科学会認定内科医  
○総合診療専門研修特任指導医  
○ICLSインストラクター  
○緩和ケア研修修了医

循環器内科  
科長

手塚 綾乃

○日本循環器学会循環器専門医  
○日本内科学会認定内科医



整形外科  
科長  
高野 純

○日本整形外科学会整形外科専門医



頭頸部・耳鼻咽喉科  
科長  
永田 圭

○日本耳鼻咽喉科頭頸部学会認定専門医  
○日本耳鼻咽喉科学会補聴器相談医

消化器外科  
医長

濱田 由紀

○日本外科学会外科専門医  
○緩和ケア研修修了医



新生児内科  
医長  
久保 雄一

○日本周産期・新生児医学会周産期専門医(新生児)  
○日本小児科学会小児科専門医



救急・総合診療科  
前田 和郁  
○緩和ケア研修修了医

血液内科  
山本 花  
○緩和ケア研修修了医

消化器内科  
呉 将禎

呼吸器内科  
内田 浩子  
○日本内科学会内科専門医  
○緩和ケア研修修了医

呼吸器内科  
鶴 健太郎  
○緩和ケア研修修了医

脳神経内科  
小田 健太郎  
○日本神経学会神経内科専門医  
○日本内科学会認定内科医  
○障害者福祉法第15条指定医  
○緩和ケア研修修了医

脳神経内科  
山下 悠亮  
○緩和ケア研修修了医

消化器外科  
宇都宮 麻子

整形外科  
岡村 祐太郎  
○日本整形外科学会整形外科専門医  
○緩和ケア研修修了医

産科・婦人科  
濱島 雅代  
○日本専門医機構認定産科婦人科専門医  
○緩和ケア研修修了医

泌尿器科  
森 威慈  
○緩和ケア研修修了医

頭頸部・耳鼻咽喉科  
下園 知己  
○緩和ケア研修修了医

放射線診断科  
大瀬 新

放射線診断科  
増田 敬子

### 上町いまきいれ病院

眼科 古江 恵理

○日本眼科学会眼科専門医



昭和会理念  
「協力・貢献・向上・教育」

- 1.全職員の協力体制
- 2.地域社会への貢献
- 3.自己研鑽と向上心
- 4.人材育成と教育

「救急」「がん」「周産期」を柱として、  
急性期医療で地域を支えます。



写真:血管外科、放射線診断科



公益社団法人昭和会 IMAKIIRE GENERAL HOSPITAL  
いまきいれ総合病院

〒890-0051 鹿児島市高麗町43番25号  
TEL: 099-252-1090 FAX: 099-203-9119  
<https://imakiire.jp/>



当日入院の  
ご依頼(緊急)

医療機関専用緊急ダイヤル 救急患者のご紹介(24時間対応)

TEL: 099-203-9115

医療連携全般の  
お問い合わせ

地域医療連携センター

TEL: 099-203-9110 FAX: 099-203-9101 月～金曜日 8:30～17:00 / 土曜日 8:30～12:00

翌日以降の  
診療予約

外来予約センター 診療予約・予約変更

TEL: 099-203-9100 FAX: 099-203-9101 月～金曜日 9:00～17:00 / 土曜日 9:00～12:00

画像検査の  
ご予約

画像予約センター

TEL: 099-203-9102 FAX: 099-203-9144 月～金曜日 9:00～17:00



関連施設

上町いまきいれ病院

〒892-0854 鹿児島市長田町5番24号  
TEL: 099-222-1800 FAX: 099-226-3366  
<https://imakiire.jp/kanmachi/>



いまきいれ子ども発達支援センター

関連施設

まある

〒890-0054 鹿児島市荒田1丁目15-3  
TEL: 099-202-0325 FAX: 099-202-0326

いまきいれ総合病院の  
公式SNSもチェック!

